



お正月特別企画



市民記者が行く

ロボプロジェクト

親子ロボット教室 by さばえ・ロボット・クラブ

Roboject

～羽ばたけ未来のエンジニア～

「まちづくり基金」補助金交付事業



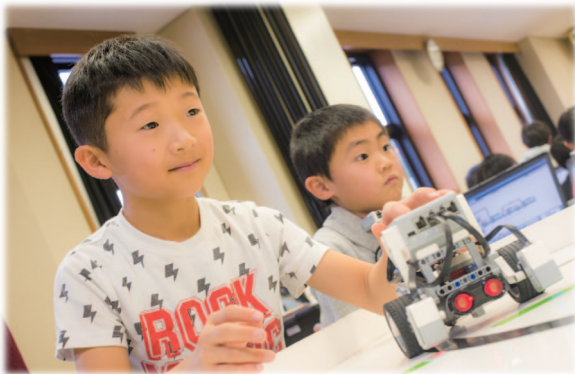
◆さばえの「ロボット教室」って知ってる？

初めは遊び、でも気が付けば子どもはもちろん大人も夢中になってしまう…。そんな教室が鯖江にあるのをご存知ですか？

理科離れの解消を目的に、ボランティア団体のさばえ・ロボット・クラブ「Roboject (ロボプロジェクト)」の皆さんが立ち上げた、小学生向けの教室です。レゴブロックで作るロボットで、最新の科学技術を体験できるのがすごい。レベルに応じて入門、初級、中級の各コースが準備されていて、とても分かりやすい内容とのこと。最近、女の子の参加も珍しくないとか。子どもたちはロボット作りの楽しさにドップリはまっているみたい。



「みんな、分かったかな？」



「うまく走るかな～」

◆どんな内容なの？

教室では、一人一人にロボットキットとパソコンが用意されていて、色々な形のロボットを作って動かす事ができます。今回の教室では、組み立てたロボットを黒い線に沿って走らせたり、コースの色をみて動きを変えたりと、驚きの連続でした。各教室とも5回コースで毎回楽しい課題が用意されているようです。

◆みんなの反応は？



自分で作ったプログラム通りにロボットが動いたときは、「ヤッター」って思います！

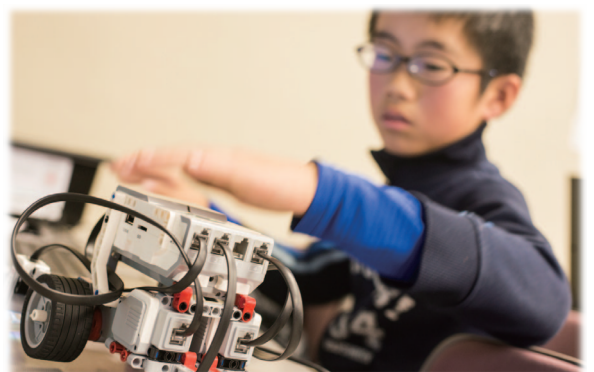


なかなか家庭ではできない体験ができるところが、とても良いと思っています。

普通のレゴとは違って、ここでは組み立てたブロックが動いてくれるから、すごく楽しい！



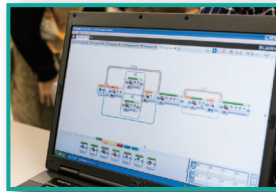
普段は見られないような、子どもが生き生きと楽しんでいる姿を見ることができました！



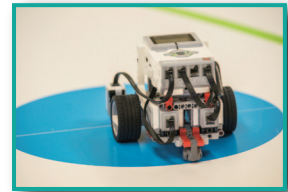
「プログラムを直してもう一回！」



細かいパーツがいっぱい



プログラムも自分で作って



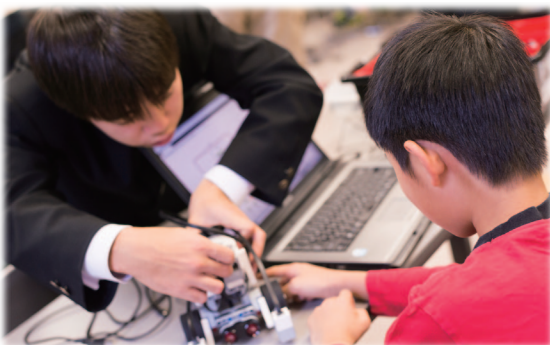
ロボット完成～！

◆「まちづくりサポーター」もお手伝い！

鯖江市役所からも3人の皆さんが参画しています。その名も「まちづくりサポーター」。さまざまな市民活動に参加することで、そこで得られる経験を職場での仕事に生かそうと取り組んでいるとか。「サポーターとしての任期が終わっても、活発に活動している皆さんと、引き続き関わっていきたい」と話していました。



「う～ん、なかなかやるな～！」



「ここ、こうしてみようか」



「もう一回やってみよう！」

◆ロボット好きが集まって…

「ロボット」というと、とても難しそうイメージがありますが、この教室では武生工業高校や鯖江中学校の学生さんが、しっかりとサポートしてくれているので、大丈夫。なんと、彼らはロボットコンテストで全国大会や世界大会に出場していて、「組み立て」から「プログラム」まで丁寧に教えてくれます。経験豊富な皆さんに教えてもらって、子どもたちの夢もふくらみます！

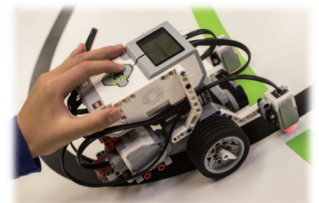
子どもたちに教えることは、とても難しいです。どうしたら上手く教えられるか、いつも考えています。教えてあげる事が目的だけど、子どもたちに教えられる事も多いんですよ。思いもよらない発想にビックリさせられます。



教室が終わったときに、「ありがとう」って言われると、とてもうれしいです。

◆次の教室は？

春から次の教室が始まる予定だそうです。市内の各小学校に参加者募集のチラシが配られます。また当クラブでは、一緒に活動してくれる人を募集しています。興味のある人は、メールでお問い合わせください。E-mail : sabarobo-2015@yahoo.co.jp



★記事：市民記者
ツカサキ

今日の教室は、コースを走らせて最後に真ん中のサークルでロボットを止めるのが課題でした。上手くプログラムしないとみ出してしまう。子どもたちは何度も失敗しながら、小さな手で上手にパソコンを操り、プログラムを修正していました。成功したときの笑顔がとてもよかったです。みんなの真剣なまなざしにビックリさせられました。近い将来、鯖江からすごいエンジニアが誕生するかも…！



★写真：市民記者
タナベ